



# ★インタビュー

この人に聞きたい!

## 第2回 県南支部 星 善介 会員

聞き手・文：澁谷 輝男 通信員



事務所名称/  
行政書士法人  
Blue Ocean International  
所在/つくば市要430-5  
電話/029-864-2812

県南支部に所属する約400人の行政書士の中で、ユニークなキャラクターでベスト3に入るのではと思われる星善介先生にインタビュー。仕事に対する軽快なフットワーク、軽妙な語り口、包容力のある笑顔と真剣な眼差しで人の心の中に入り込む良い意味での図々しさ。行政書士という型にはまらない生き方と事業展開は開業間もない方々にも参考になると思います。

星「ウェイトトレーニング及びダイエット指導。(そうじゃなくて)え? 仕事の話ですか? 国際業務全般です。先日もアジア系の女性とデートしました。し、仕事ですから… (汗)。」

澁谷「これまでの業務で印象に残っている出来事は?」

星「すべての案件が印象に残っています。これは会員の皆様も同じだと思いますが、業務は全身全霊で大袈裟ではなく命懸けで臨みます。クライアントのためなら死んでもいいと考えています。これはウソではありません。子供の学費もあるのでもう少し長生きするつもりですが…。」

澁谷「開業して何年になりますか?」

星「6年目に入りました。現在、法人化に向けて準備しています。」  
※【通信員注】この誌面が発行される頃には法人化されております。

澁谷「入会間もない新人に贈る言葉」

澁谷「行政書士となったきっかけは何ですか?」

星「もともと営業職が長かったことやビジネスのアイデアがたくさんあって、それを実現するため、さらにコンサル業をしたいと考えたときに合法(違法な行為にならないよう)に報酬をいただくために資格が必要になったからです。と言うのは表向きで、実は何も考えてなかったです(笑)。」

星「体を鍛えてください。これを言うと皆笑うのですが、最後まで業務をやり抜くには体力&精神力が必要です。クライアントのためには我々が途中で息切れしたり、諦めてしまっはいけないのです。体を鍛えるということは心も同時に鍛えるということ! さあ、私と一緒にスクワットをしましょう! ……と言っても誰もやらないのですが(苦笑)。」

澁谷「前職の経験で役に立ったことは?」

星「一言でいうのは難しいです。転職を10回以上していますから(笑)。すべての経験が役に立っています。」

澁谷「行政書士の役割として感じていること」

澁谷「開業時に頑張った良かったこと、無駄だったことは?」

星「開業時はアルバイトに精を出していました(笑)。無駄だったことはありません。すべての経験が成長の糧になりました。」

星「行政書士の仕事は無限にありますよね? ですが、私自身の能力の限界点が低いこともあるのですが、一人の行政書士にできることには限りがあります。ですから私は法人化してより多くのクライアントの要望により高いレベルで応えたいのです。そのためには行政書士同士が協力しあいながら連携することが重要だと思います。我々は「一つのチーム」なのです(ん?どこかで聞いたような(笑))。」

澁谷「業務が軌道に乗った転換期は?」

星「業務が軌道に乗るのはこれからだと考えています。敢えて言うなら前述したアルバイトを辞めたころ、開業から2年を過ぎたころから業務量が飛躍的に多くなりました。先日はあまりに多くのお客さんが事務所に押しかけてきて床が抜けました(嘘)。今や依頼を受けても1年以上お待ちいただくこととなります。申し訳ない気持ちです(大嘘とのこと)。」

澁谷「これから目指したい行政書士像、目標など」

澁谷「得意とする業務分野は?」

星「私は開業当初から、「日本一“親切な”行政書士」を標榜しています。私の(拙いですが)知識、経験、情熱で世界中の人をハッピーにしたいと本気で考えています。最後に私が行政書士として仕事ができているのも茨城会の先輩方、更には全国の先輩方のおかげです。この場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございます。」